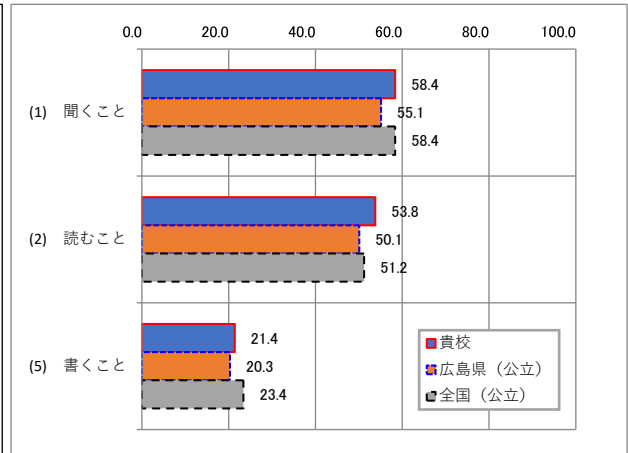
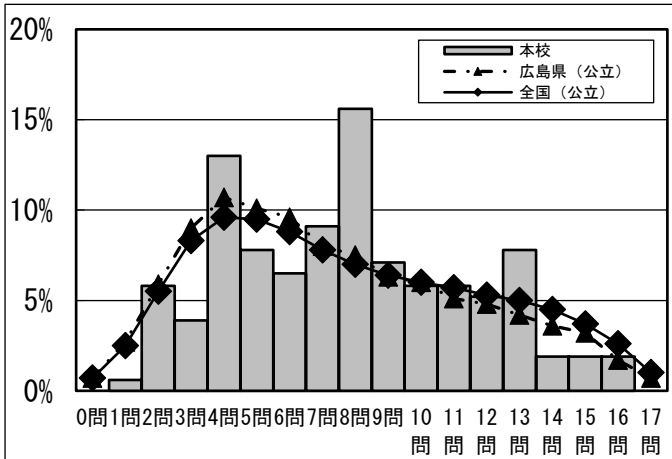


令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

平均正答率	廿日市中	広島県平均	全国平均
	46%	43%	45.6%

英語

英語については、平均正答率が46%だった。領域別では(5)書くことの事項が全国平均よりも低い。(1)聞くことは全国平均と同じで、(2)読むことは県平均、全国平均よりも高い。問題形式については、「選択式」は県平均、全国平均よりも高いが、「短答式」「記述式」は全国平均よりも低い。



【正答率上位2問】

- ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。
(設問1(1)) 85.7% (県75.0%)
- 道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する。
(設問1(2)) 70.1% (県61.3%)

【正答率下位2問】

- 学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。
(設問10) 5.8% (県6.1%)
- 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。
(設問9(1)②) 13.0% (県17.6%)

【重点課題】

- 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことに課題がある。英作文に一貫性のなかった解答が22.1%、語数指定(25語以上)を満たしていない解答が20.8%であった。
- 疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができていない。疑問詞 where を用いているが、一般動詞の過去形以外の形で疑問文を書いた解答が40.3%であり、文脈から助動詞を過去形にして用いるべきであることを判断できていない。

【授業改善】

- 自分の考えや意見を伝えたり、理由や例を付け加えたりする表現を、例文を参考に書いて慣れる。つながりを意識して書くことができるよう、接続詞を用いて英文を書く活動を単元内で段階的かつ継続的に設定する。単元にテーマ作文としてアウトプットさせ、まとまりのある文章を書く力を養う。
- まとまりのある英文を読み、対話の流れにあった時制表現を判断する力が必要である。授業での対話活動(インタビュー活動)の前に、正しい文法を用いて英作文できるよう、適切な疑問詞や助動詞の使い方について毎時間、反復練習をする。

■【設問10】5.8% (広島県6.1%)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'mやdon'tなど）は1語と数え、符号（,や?など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3語】

<問題の概要>

学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。

<出題の趣旨>

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

<学習指導要領における内容>

書くこと

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

<解答類型>

(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 学校生活（行事や部活動など）の中から1つ取り上げている。 ② 紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。 ③ 25語以上の英語で書いている。 (正答例) ・Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs. [33 words]			
類型	正誤	解答の内容	反応率
1	◎正答	条件①、②、③を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの	0.0
2	○準正答	条件①、②、③を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの (正答例) ・Our school has a school festival in October. In the festival, we have _ chorus contest and we practice hard. We want to win the gold <u>plize</u> . [26 words]	5.8
3	誤答	条件①、②、③を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	30.5
4	誤答	条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているが、条件③を満たさないもの（20語～24語の英語で書いているもの）	0.6
5	誤答	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	22.1
6	誤答	条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	0.0
7	誤答	条件③を満たさないで解答しているもの（解答類型4を除く）	20.8
8	誤答	上記以外の回答	3.2
0	無回答		16.9

- ◆ 正答の【解答類型1】は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章で正確に書くことができている生徒ですが、本校にはいませんでした。
- ◆ 準正答の【解答類型2】の生徒は、英語の表現に関して、軽微な綴りの誤り、冠詞の脱落、三人称単数現在形の誤りなど、一部不正確な表現は見られるが、文構造の誤りはなく、読み手に伝わる英語で紹介する内容を一貫性のある文章で書くことができます。
- ◆ 最も誤答の多い【解答類型3】の生徒は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章を25語以上で書くことはできていますが、文構造の誤り、主語や動詞の脱落など、コミュニケーションに支障をきたすような誤りがあり、基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題があると考えられます。
- ◆ 次に誤答の多い【解答類型5】の生徒は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する文章を25語以上で書くことはできていますが、話題が次々と変わったり、文と文の順序や相互の関連に注意が払われていなかったり、「主題とその具体例」という説明文の文章構成を意識しながら書くことができていなかったりするなど、一貫性のある文章で書くことに課題があると考えられます。
- ◆ その次に誤答の多い【解答類型7】の生徒は、問題の指示文を理解できていないか、学校生活を紹介するために必要となる基本的な語や文法事項等の知識が身に付いていないと考えられます。
- ◆ 【解答類型4】の生徒は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章で書くことはできていますが、取り上げたテーマについて、25語以上の英語で具体的に説明することに課題があると考えられます。
- ◆ 説明文を書く際には、「主題とその具体例」、意見文を書く際には、「最も伝えたいこととその理由」など、目的に応じて文章構成を判断することが重要で、指導に当たっては、「学校生活や家庭生活における出来事について、電子メールや手紙、日記、レポート、スピーチ原稿などの形式により、事実を伝えたり、出来事を描写したりする文章を書く活動」や「身近な話題や生徒の体験について、手紙や電子メール、新聞の投稿欄などの形式により、自分の考えや気持ちなどが伝わるように文章を書く活動」に取り組みます。
- ◆ 書き表したものをペアやグループで読み合い、言語面での気付きを共有したり、内容や構成、表現方法について質問したり、コメントを述べたりし、その内容を参考に推敲するなど、それぞれの言語活動を関連付けた段階的な学習指導を工夫します。

<内容の系統性>

書くこと

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。

<教科書との関連>※東京書籍

学年	単元	他教科との関連
第1学年	Stage Activity 1 “All about Me” Poster	・自分の好きなことについて、つながりのある文章を書くことができる。
	Let's Write 1 お祝い	・目的に合わせたカードを書くことができる。
	Unit 9 Think Globally、 Act Locally	・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。
	Let's Write 2 旅先からの便り	・旅先からの絵はがきを書くことができる。
	Unit 11 This Year's Memories	・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる
第2学年	Unit 2 Food Travels around the World	・好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。
	Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信	・留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。
	Learning TECHNOLOGY in English	技術・家庭(技術) ・情報の表現と伝達
	Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	・好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。
	Unit 4 Homestay in the United States	・習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。
	Let's Write 2 ホームステイのお礼状	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。
第3学年	Unit 1 Sports for Everyone	・これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。
	Let's Write 1 有名人への手紙	・気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。
	Learning SCIENCE in English	理科 ・生態系における生物の関係
	Unit 3 Animals on the Red List	・自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。
	Let's Write 2 記事への意見	・社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。
	Unit 4 Be Prepared and Work Together	・標識が何を意味しているかを説明することができる。
	Let's Write 3 グラフや表の活用	・資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。
	Stage Activity 2 Discover Japan	・日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。

正答率下位2問についての詳細

■【設問9(1)②】13.0% (広島県17.6%)

- 9 (1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

[答え] was doing

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

<問題の概要>

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。

<出題の趣旨>

疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる。

<学習指導要領における内容>

書くこと

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

内容(1)英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

<解答類型>

類型	正誤	解答の内容	反応率
1	◎正答	疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書いているもの (正答例) Where did you buy	13.0
2	○準正答	疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの (正答例) where did you buy	0.0
3	誤答	疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書いているが、誤りがあるもの	4.5
4	誤答	疑問詞 where を用いているが、一般動詞の2人称単数過去形以外の疑問文を書いているもの	40.3
5	誤答	類型4までとは異なる疑問文を書いているもの	8.4
6	誤答	疑問文を書いていないもの	27.9
8	誤答	上記以外の回答	0.0
0	無回答		5.8

◆ 正答の【解答類型1】の生徒は、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 where を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができます。しかし、正答率が13.0%であることから、全体として、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことに課題があります。特に、【解答類型4、6】の誤答の反応率が高いことから、一般動詞の疑問文を正確に書くことに課題が見られます。

◆ 最も誤答の多い【解答類型4】の生徒の誤答例としては、次のようなものが考えられます。

- ・ Where do you buy
- ・ Where bought
- ・ Where were you buy

このように解答した生徒は、会話の流れから疑問詞 where を用いて書くことは理解していますが、時制を正しく判断することができていないか、基本的な語や文法事項等を理解して一般動詞の疑問文を書くことに課題があると考えられます。

◆ 次に誤答が多い【解答類型6】の生徒の誤答例としては、次のようなものが考えられます。

- ・ It's buy
- ・ buy
- ・ bought

このように解答した生徒は、会話の流れから疑問文を書くことを理解できていないと考えられます。

◆ 場面や状況に応じて正確に英文を書くためには、文脈から適切な文の形式や時制を判断することが大切であることから、文脈に応じて理解した文法事項を正しく活用したり、活用することを通して文法事項を理解したりする活動や、書いた英文が相手に正しく伝わるかどうかについて、生徒自身が読み直して誤りを修正したり、ペアでチェックし合ったりして正確な英文に書き直す活動を取り入れます。

◆ 一般動詞の疑問文についての理解が不十分であることから、疑問文を実際のコミュニケーションにおいて正しく活用できるよう、疑問文を用いて話したり書いたりする活動を、3年間を通じて継続的に行っていきます。

<内容の系統性>

書くこと

小学校第3学年及び第4学年 外国語活動	小学校第5学年及び第6学年 外国語	中学校 外国語
	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

<教科書との関連>※東京書籍

学年	単元	他教科との関連
第1学年	Unit 6 A Speech about My Brother	・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。
	Unit 11 This Year's Memories	・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。
第2学年	Unit 2 Food Travels around the World	・好きな食べ物やその理由について、紹介文を書くことができる。
	Unit 4 Homestay in the United States	・習慣やマナーについて、たずねたり伝えたりすることができる。
第3学年	Unit 6 Beyond Borders	・架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。